



2021年4月14日 (水)

第60期 (2021年3月期) 決算説明会

(2020年4月1日~2021年3月31日)

代表取締役社長
執行役員

最高経営責任者 (CEO)
管理本部長

保木 潤一
川久保 秀樹

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

業績の概要

第60期（2021年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	20.3 59期実績		21.3 60期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,232		36,504		△728	98.0%
営業利益	5,307	14.3%	5,632	15.4%	324	106.1%
経常利益	5,791	15.6%	5,988	16.4%	197	103.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,529	14.9%	4,959	13.6%	△570	89.7%
E P S	183.07円		164.03円			

HOGY

4

■ 減収減益

売上高 : 新型コロナの状況が手術件数へ大きく影響を及ぼし、KIT製品を中心に影響を受ける

原価率 : 58.0%(前年比-0.5pt)
償却費の減少/製造量減少による生産性への影響

販売管理費 : 新型コロナによる営業活動量の減少により
旅費交通費や見本費の減少

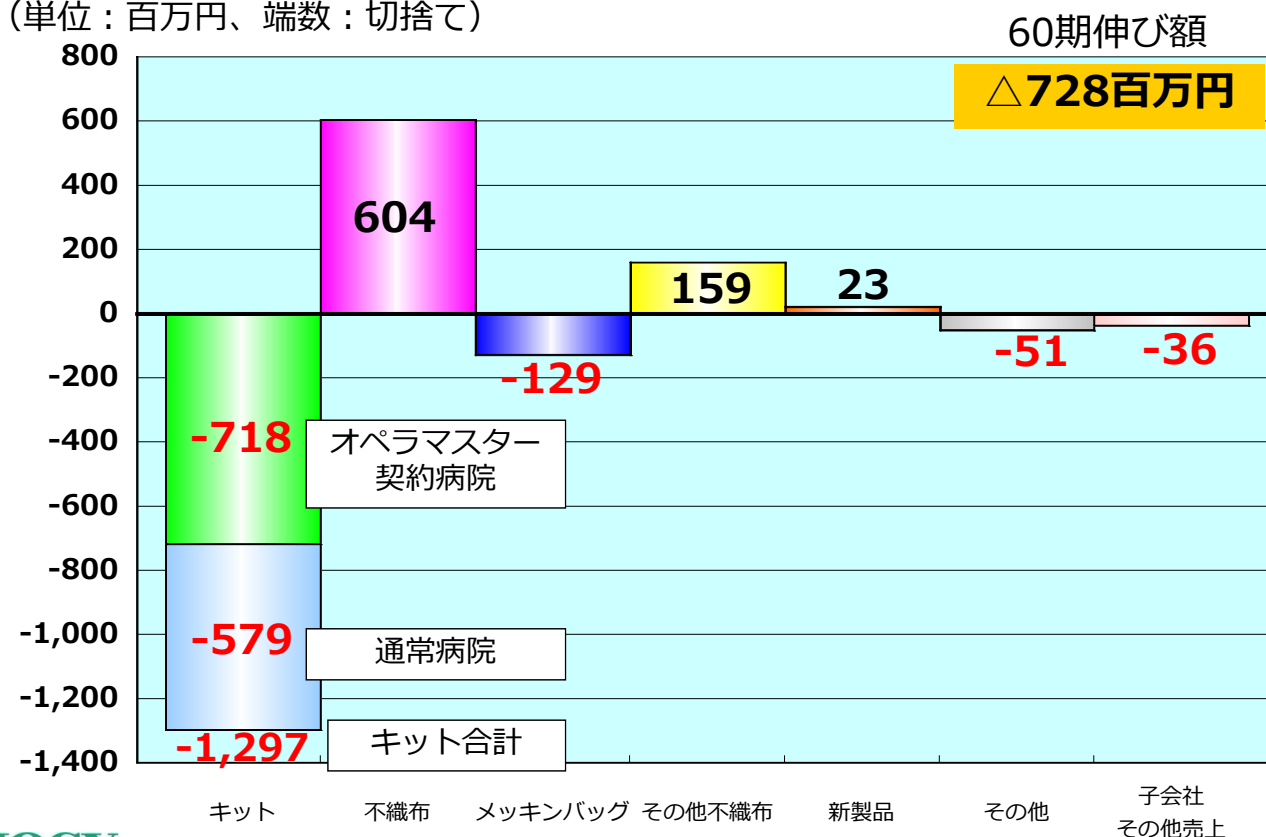
特別利益 : 保有していた有価証券の売却益 1,028百万円
* 前期1,942百万円

その他 : 通期で2円の増配

第60期（2021年3月期） 主な製品の売上高伸び額



(単位：百万円、端数：切捨て)



HOGY

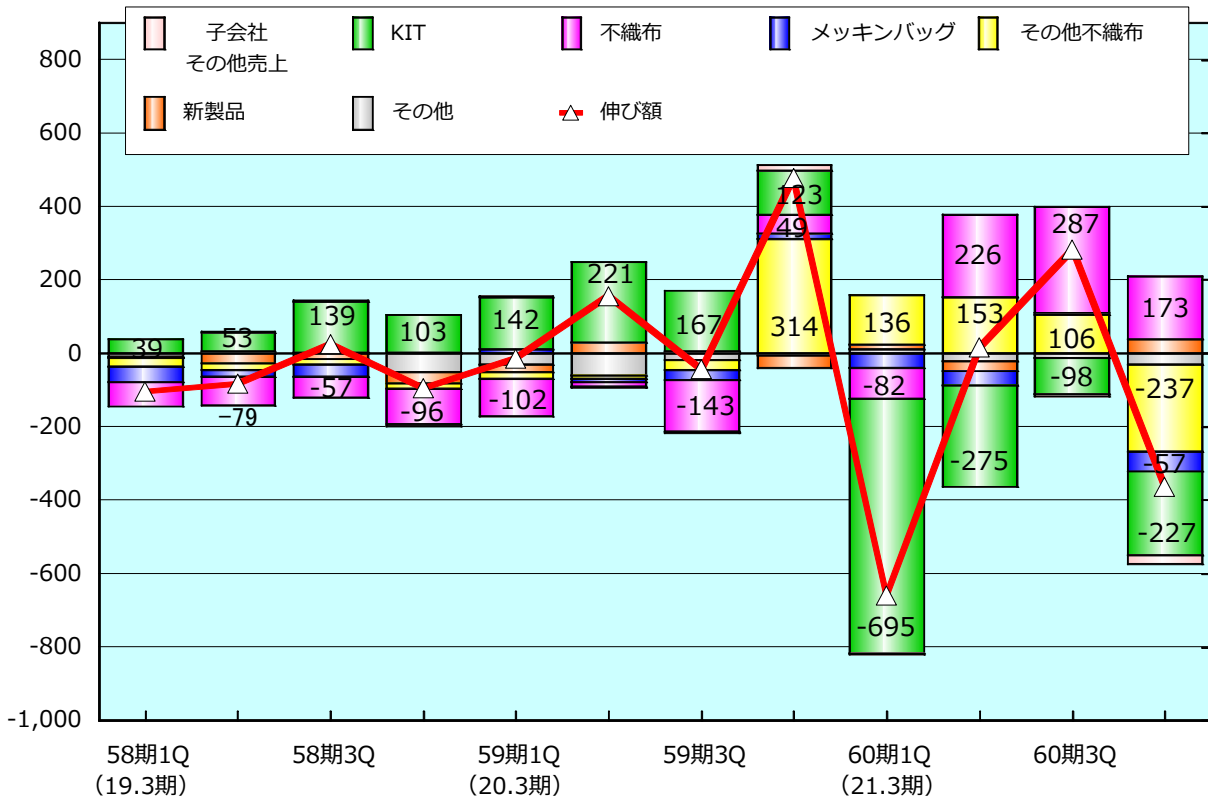
5

- ・ 新型コロナにより手術件数が減少(延期)し、KIT製品を中心に減収（診療科別では眼科、整形、外科の順で金額の影響を受けた）
- ・ プレミアムキット、ブリストアキットは9.1%の増収
- ・ 不織布（ガウン、プリコーションセット）とその他不織布（マスク）は特需が発生
- ・ 営業活動については医療機関の意向を確認し、制限付き活動を継続（営業員はPCR検査で陰性を確認）
訪問禁止施設 16%、要望時のみ訪問可能 60%（3月末時点）
- ・ オペラマスター 新規契約5施設、解約12施設

第60期（2021年3月期） 四半期別売上高伸び額の内訳



(単位：百万円、端数：切捨て)



HOGY

6

- ・新型コロナの状況が手術件数へ大きく影響を及ぼし、KIT製品を中心に影響を受ける
- ・新規獲得により新型コロナの影響からは改善
- ・新型コロナの影響により一部製品で特需が発生、第4四半期でその他不織布（マスク）は一巡

(単位：百万円、端数：切捨て)

製品	要因	1Q	2Q	3Q	4Q	60期
KIT	新規等	124	154	292	184	754
	コロナ	-820	-430	-390	-410	-2,050
	KIT 合計	-695	-275	-98	-227	-1,295
不織布	コロナ (ガウン+プリコーション)	120	340	310	240	1,010
	海外	23	101	99	120	343
	その他 (コロナ影響含む)	-225	-215	-121	-187	-748
	不織布 合計	-82	226	287	173	604
メッキンバッグ	コロナ	-40	-40	0	0	-80
その他不織布	コロナ	160	180	130	70	540
	その他	-24	-27	-24	-307	-382
	その他不織布 合計	136	153	106	-237	159
上記要因以外		-20	-89	-13	-73	-195
合計		-661	15	282	-364	-728

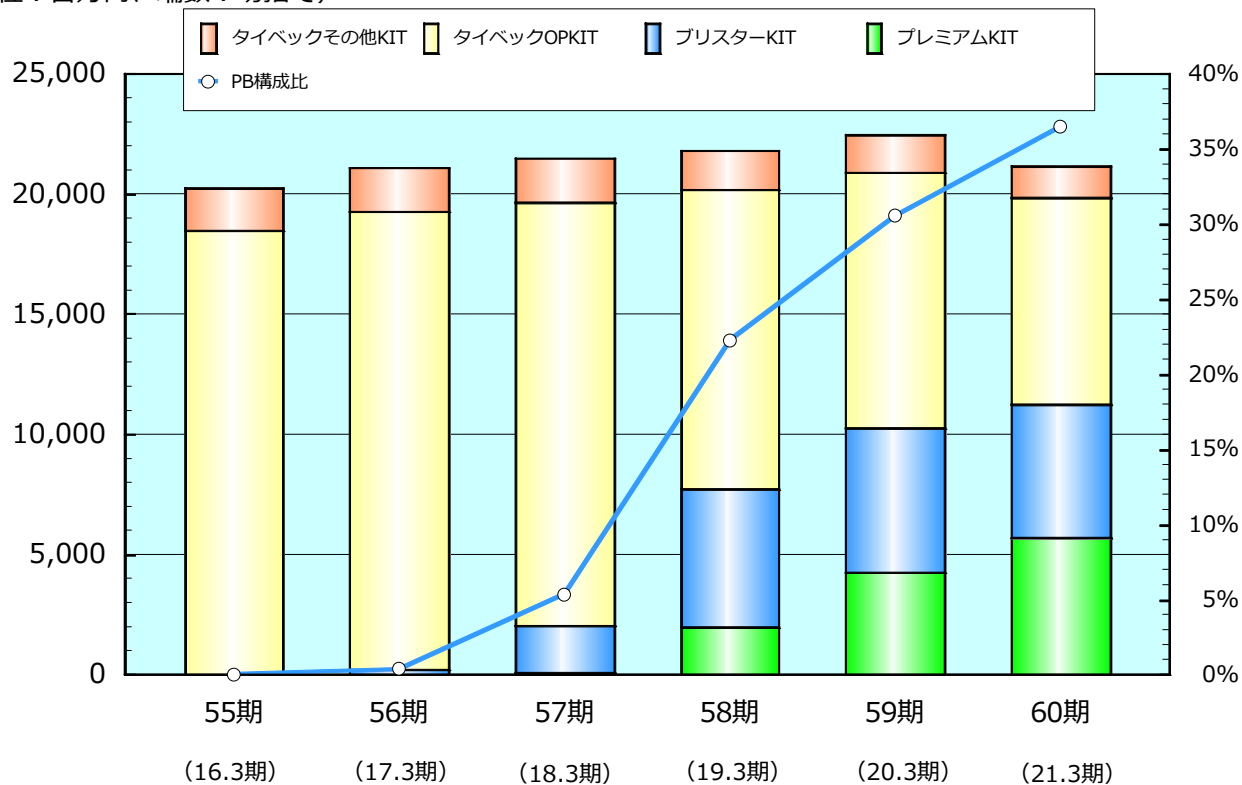
60期コロナ影響合算 -1,040

6

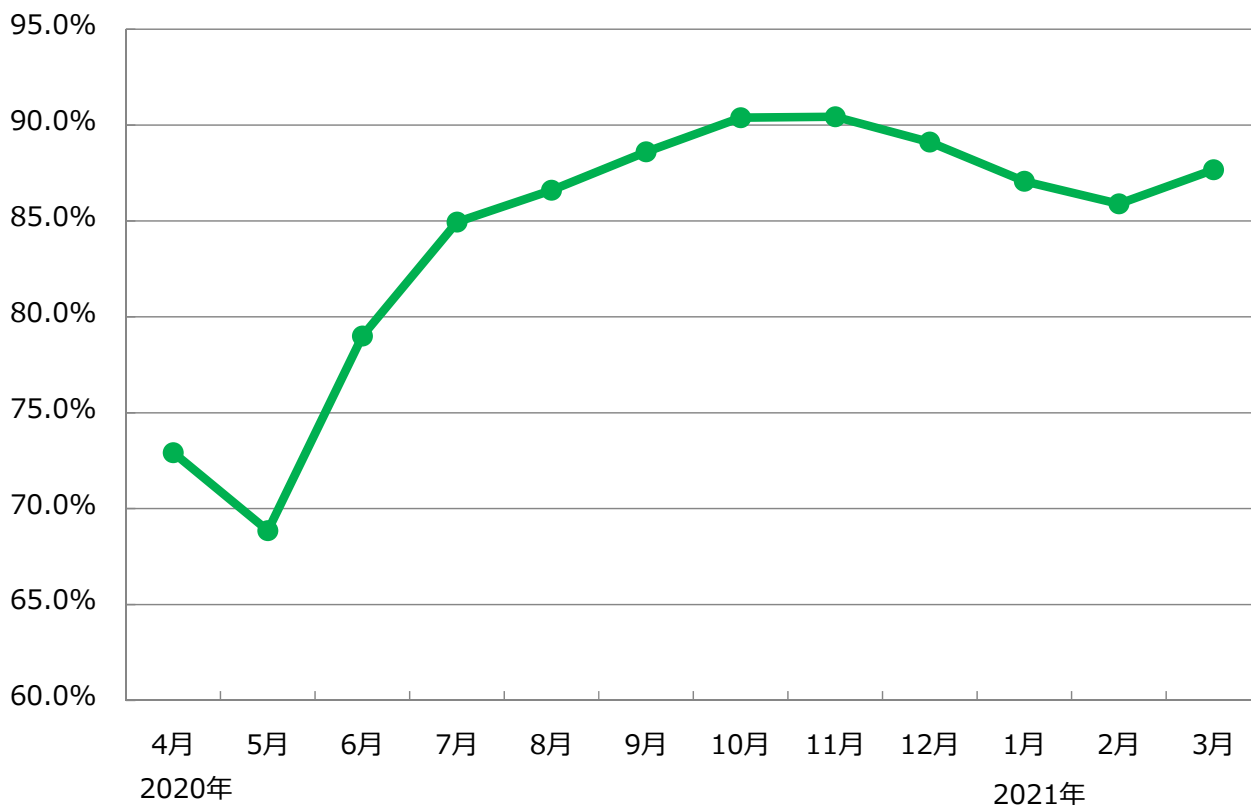
キット製品 売上高推移



(単位：百万円、端数：切捨て)



2000病院での新型コロナによる手術への影響（営業員報告）



HOGY

8

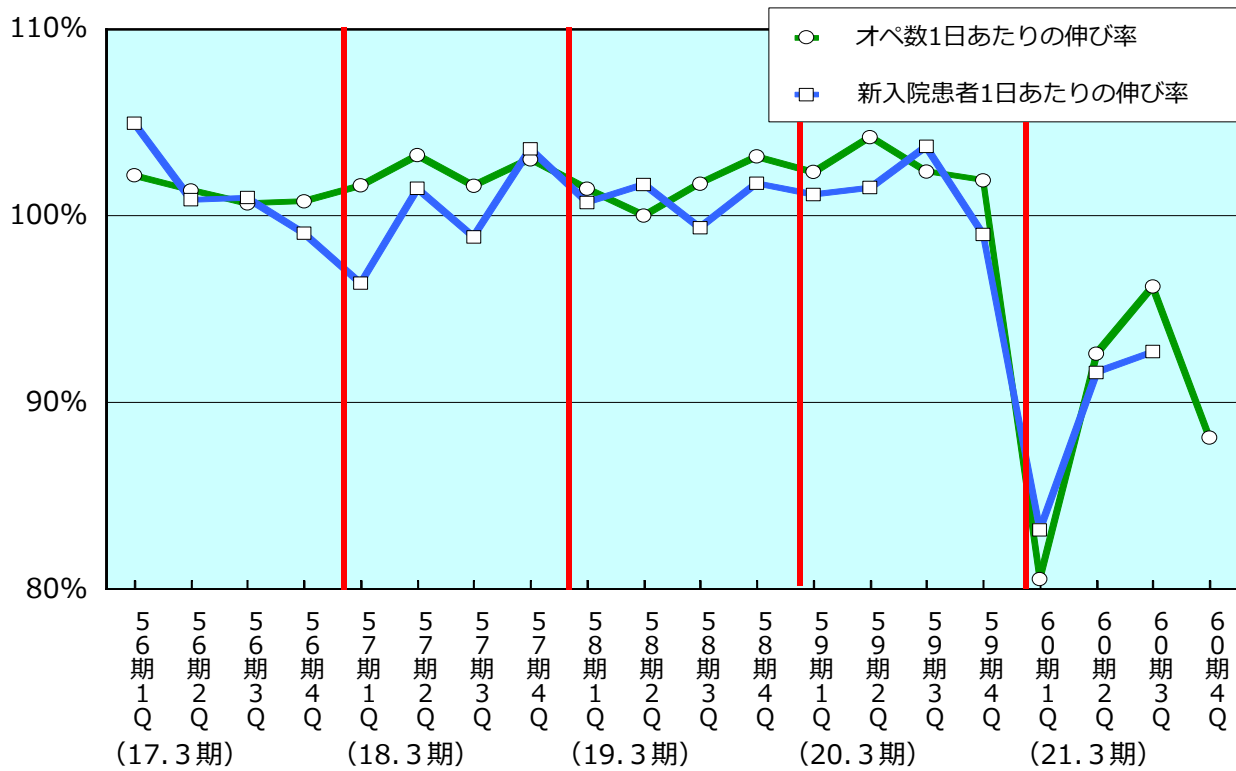
- ・ 弊社営業員調べによる約2000病院での新型コロナによる手術件数への影響の調査結果

年間：15.7%（全国の手術件数では約78万件に相当）

1Q：25%減、2Q：13%減、3Q：10%減、4Q：13%減

- ・ 手術件数は回復傾向にあったが、第3波の影響で第4四半期に再び手術件数への影響あり
- ・ 緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向は継続

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



第60期（2021年3月期）振り返り

■ 市場環境について

- ✓ 新型コロナの影響により医療機関では従来発生していない業務が増加
- ✓ 医療従事者の**離職増加**
- ✓ 緊急事態宣言中は特に医療機関への**受診抑制と手術件数が減少**
- ✓ **病院の経営悪化**が加速
- ✓ 医療機関での**機能分化が促進**
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取り組む医療機関との2極化が進む

■ 内部環境について

- ✓ 医療機関への訪問規制に対して、リモートでの営業活動の促進が行われた
- ✓ 営業員のPCR検査の実施
- ✓ 営業員への教育実施
- ✓ 新型コロナ対策製品の開発・販売
- ✓ インドネシアでの生産体制の強化

第61期（2022年3月期）経営計画

第61期（2022年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		38,400		1,895	105.2%
営業利益	5,632	15.4%	6,350	16.5%	717	112.7%
経常利益	5,988	16.4%	6,620	17.2%	631	110.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,959	13.6%	4,720	12.3%	△239	95.2%
E P S	164.03円		156.69円			

HOGY

12

■ 増収減益計画

■ 想定事業環境について

- ✓ ワクチン接種開始、変異株の感染拡大と感染状況を大きく変動する要因が多分に含まれており、不透明な状況が続く
- ✓ 一部影響は残るものの前年よりは改善すると考える
(新型コロナによるマイナス影響は前年の半分程度になる)
- ✓ 医療機関の対応は2極化が進む

■ 医療機関での**人員不足が加速**しており、「**安定供給**」と手術準備の「**効率化**」と「**安全性向上**」に貢献できるプレミアムキットの提案を強化

■ 売上高

- ✓ 医療経営機関では増加した業務が定着し、医療従事者の人員不足は慢性的な問題となり、看護師の作業を担うプレミアムキットの提案強化
- ✓ 手術件数に起因し減少した製品は反動増を、特需が起きた製品は反動減を見込む
- ✓ R-SUD事業の準備（新型コロナが落ち着き次第営業活動予定）

■ 原価

- ✓ 製造量増加に伴う生産性の改善
- ✓ 償却費の減少（新工場2期設備の一部稼働開始）
- ✓ 円安の影響による原価の増加
- ✓ インドネシアでの需要に合わせた生産体制の確立

■ 販売管理費

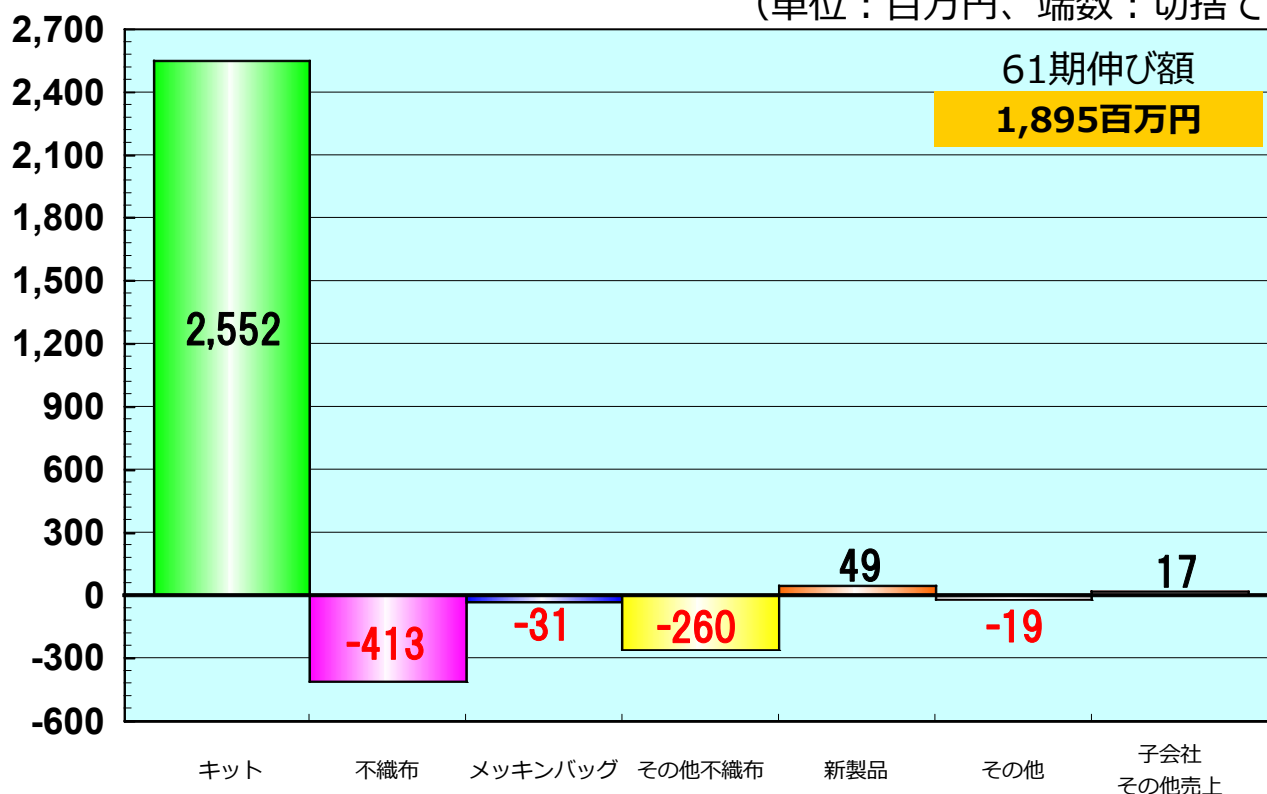
- ✓ 営業活動増加に伴う旅費交通費・見本費等の増加

■ 特別利益

- ✓ 前年度は株式売却益を計上

第61期（2022年3月期）主な製品の売上高増減額

（単位：百万円、端数：切捨て）



HOGY

14

- **キット製品**：新規（プレミアムキット）契約と新型コロナウイルスによる減少の反動を受け増加
- **不織布製品**：プリコーション特需の反動減
- **その他不織布**：マスクの特需の反動減

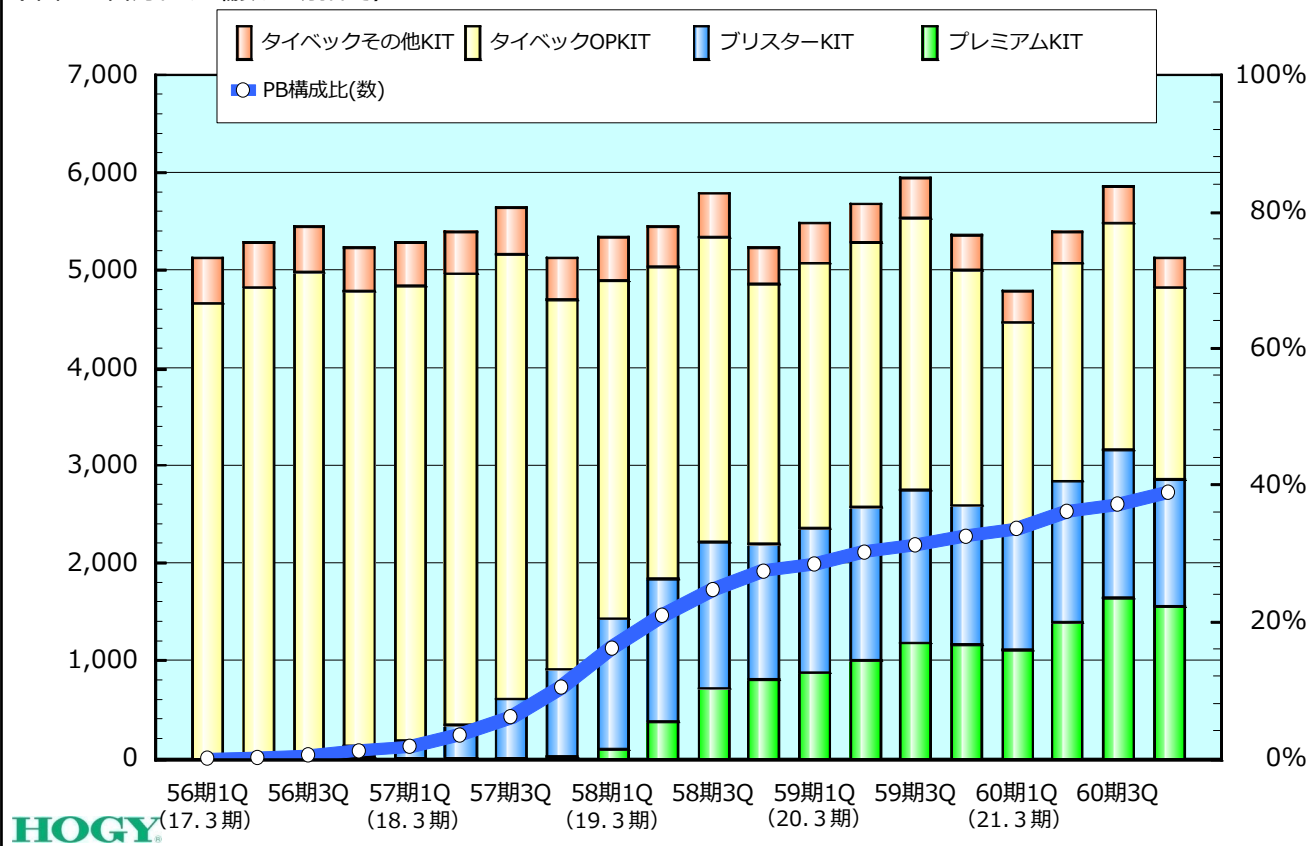
▼KIT、不織布製品の要因別内訳

製品	要因	60期実績	61期内訳
KIT	新規等	754	1,252
	コロナ	-2,050	1,300
	KIT 合計	-1,295	2,552
不織布	コロナ (ガウン+プリコーション)	1,010	-710
	海外	343	27
	その他 (コロナ影響含む)	-748	260
	不織布 合計	604	-413
上記製品以外		-36	-244
合計		-728	1,895

実績の詳細

キット製品 売上高推移

(単位：百万円、端数：切捨て)

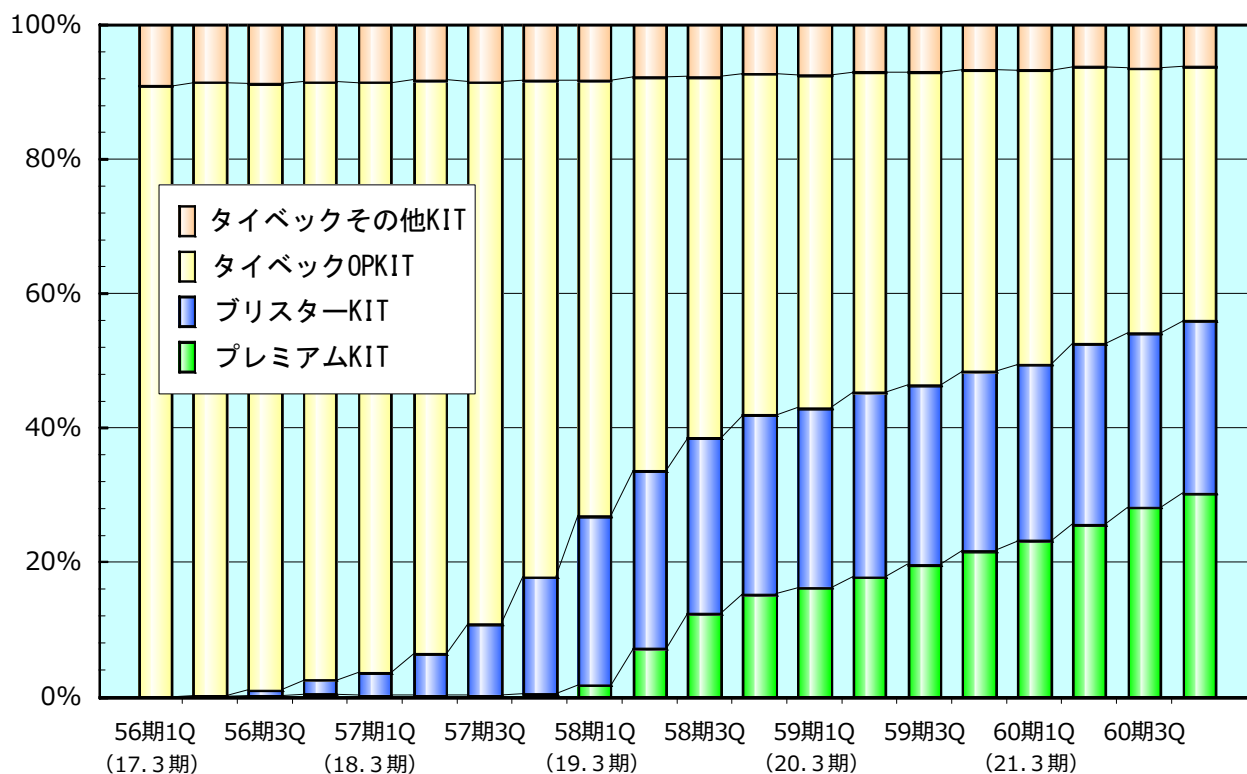


HOGY

- ・ 新型コロナの影響でタイバックキットを中心に販売量が減少
- ・ 緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向
- ・ 60期第4四半期 前年比
 - ✓ プレミアム、プリスター：+271百万円、110.5%
 - ✓ タイバックキット：△499百万円、81.9%
- ・ 60期キット製品構成比 ((プレミアム+プリスター)/キット)

	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q前年比
売上高	49.4%	52.6%	54.1%	55.9%	+7.4%
数量	33.6%	36.1%	37.1%	38.9%	+6.5%

キット製品 販売構成比 推移



HOGY

・新型コロナの影響によりタイベックキットが減少したことにより、プレミアムキットの構成比が上昇

オペラマスター契約病院の手術数推移

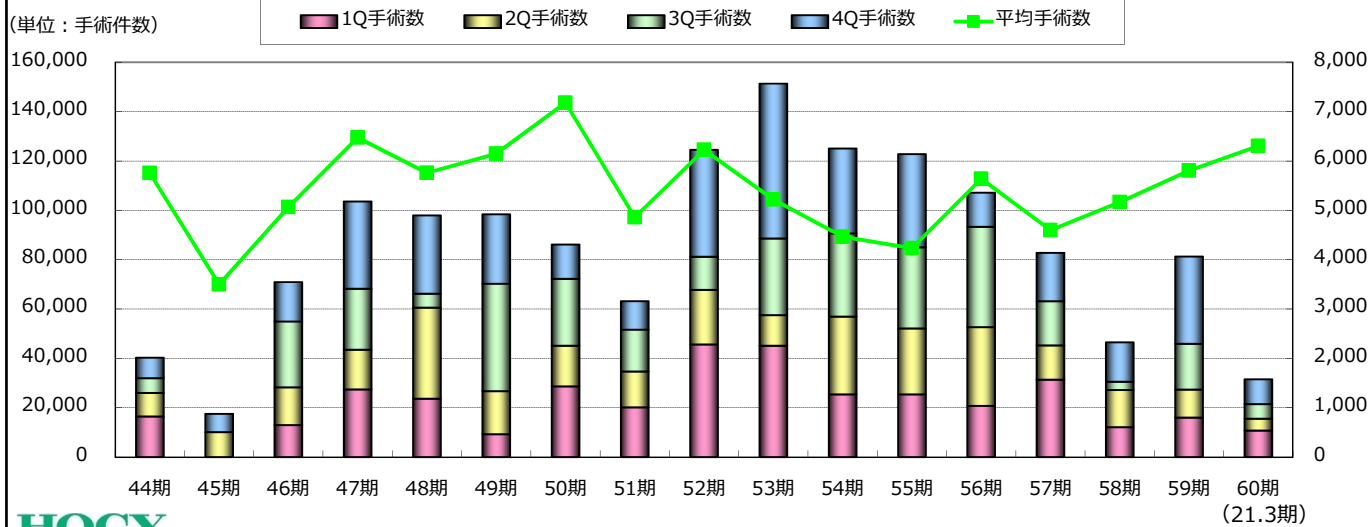


売上高 : 14,154百万円 (前年比 △718百万円 : 95.2%)

60期契約施設数 : 新規5施設、解約12施設

累計契約施設数 : 271施設

オペラ契約期別 獲得手術数 & 平均手術数

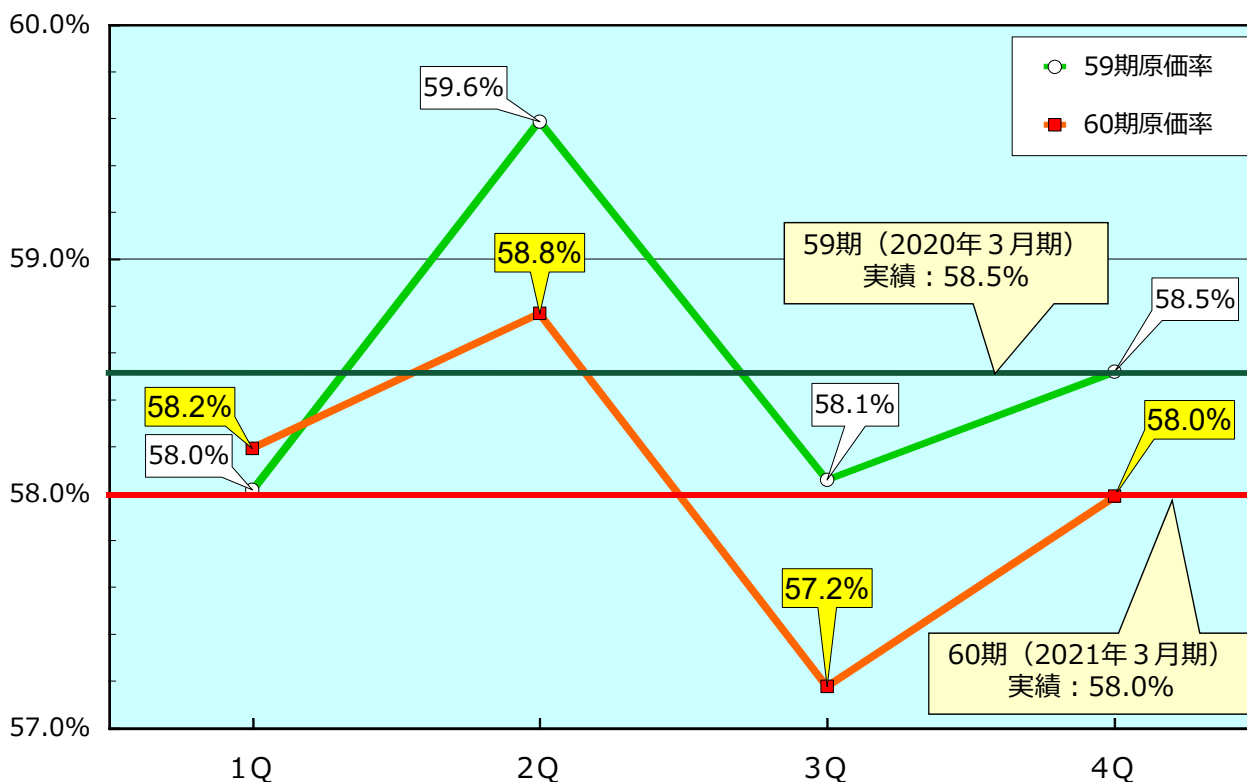


HOGY

18

- ・ 60期新規契約病院5件 (I 群3件 III群2件)
- ・ 60期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は6,300件
- ・ オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

第60期（2021年3月期）原価率推移



HOGY

19

- 新工場償却費の減少

償却合計 : 4,549百万円 (前年比 : 733百万円減)

- 原価 : 3,643百万円 (前年比 : 569百万円減)
- 販管費 : 906百万円 (前年比 : 164百万円減)

- 生産量減少による原価率の増加

- コーポレートレート110円

第60期（2021年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	20.3 59期実績		21.3 60期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,232		36,504		△728	98.0%
売上原価	21,798	58.5%	21,177	58.0%	△620	97.2%
売上総利益	15,434	41.5%	15,326	42.0%	△107	99.3%
販売費及び一般管理費	10,126	27.2%	9,694	26.6%	△432	95.7%
営業利益	5,307	14.3%	5,632	15.4%	324	106.1%
営業外損益	483		355		△127	
経常利益	5,791	15.6%	5,988	16.4%	197	103.4%
特別損益	1,934		1,001		△933	
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,529	14.9%	4,959	13.6%	△570	89.7%
E P S	183.07円		164.03円			

主な増減科目	前年比
旅費交通費	△219
減価償却費	△164
見本費	△135
人件費	189

↑

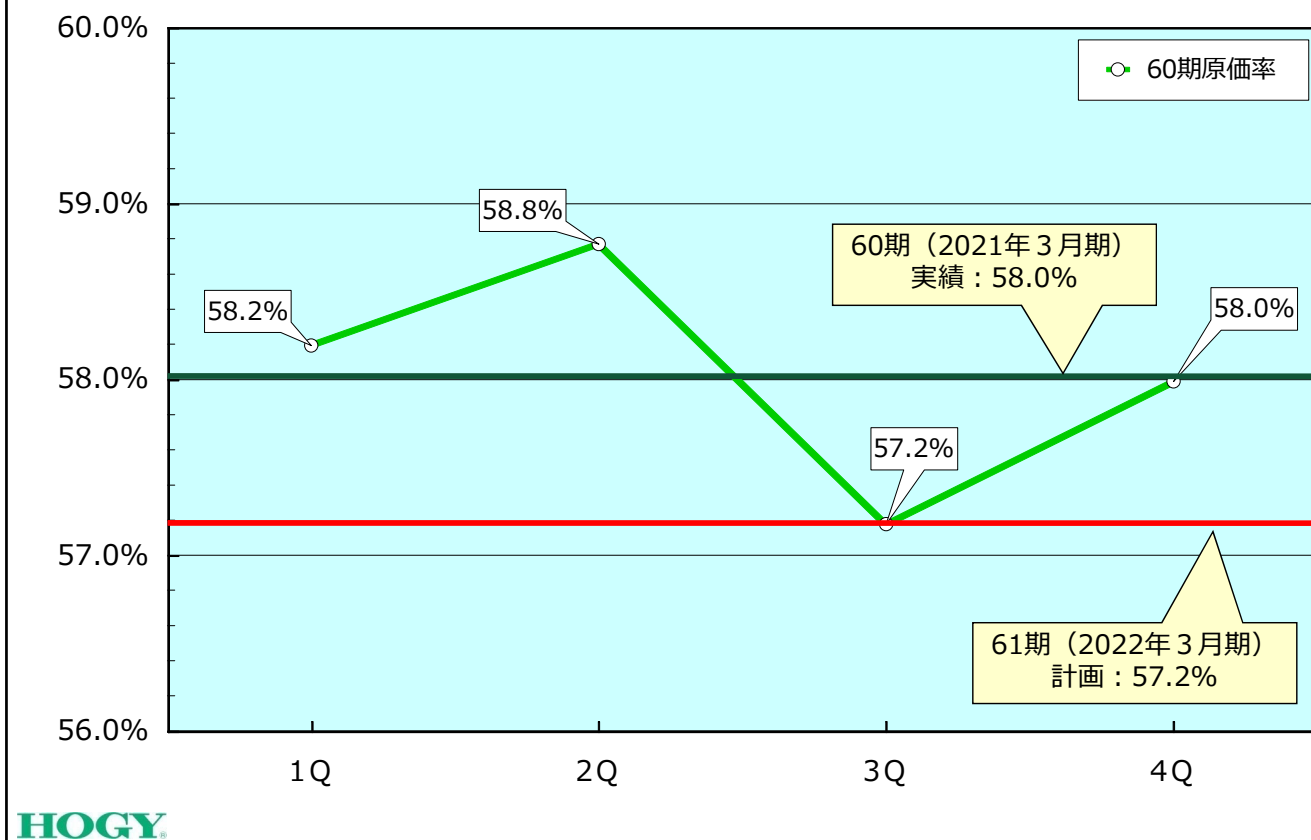
一部株式売却益
2020年3月期：1,942百万円
2021年3月期：1,028百万円

HOGY

- ・ 販売管理費：9,694 百万円(△432百万円)
 - ✓ 人件費：前年度利益増加に伴う人件費上昇
 - ✓ 旅費交通費、見本費：営業活動自粛の影響
- ・ 営業外：新工場建設による牛久市からの助成金
- ・ 特別利益：有価証券売却益の計上
- ・ 設備投資：5,261百万円(内新工場追加：3,644百万円)

第61期（2022年3月期）経営計画

第61期（2022年3月期）損益計算書



22

- ・新工場償却費の減少

償却合計 : 4,500百万円 (前年比 : 49百万円減)

- ・ 原価 : 3,600百万円 (前年比 : 43百万円減)

- ・ 販管費 : 900百万円 (前年比 : 6百万円減)

- ・新工場第2期 一部設備の取得を開始

- ・生産量増加による原価率の改善

- ・コーポレートレート115円

第61期（2022年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		38,400		1,895	105.2%
売上原価	21,177	58.0%	21,980	57.2%	802	103.8%
売上総利益	15,326	42.0%	16,420	42.8%	1,093	107.1%
販売費及び一般管理費	9,694	26.6%	10,070	26.2%	375	103.9%
営業利益	5,632	15.4%	6,350	16.5%	717	112.7%
営業外損益	355		270		△85	75.9%
経常利益	5,988	16.4%	6,620	17.2%	631	110.6%
特別損益	1,001		0		△1001	0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,959	13.6%	4,720	12.3%	△239	95.2%
E P S	163.03円		156.69円			

主な増減科目	前年比
人件費	308
旅費交通費	139
見本費	86
試験研究費	△146

→ 一部株式売却益 2021年3月期：1,028百万円

HOGY

23

- 販売管理費：10,070百万円(375百万円)
 - ✓ 人件費：定期昇給、人員増
 - ✓ 旅費交通費・見本費：新型コロナによる反動
 - ✓ 減価償却費：システム償却の減少
- 特別利益：前年度、有価証券株式の売却利益計上
- 設備投資：3,700百万円(内新工場追加：1,800百万円)



2021年4月14日 (水)

第60期 (2021年3月期) 決算説明会

(2020年4月1日～2021年3月31日)

代表取締役社長
執行役員

最高経営責任者 (CEO)
管理本部長

保木 潤一
川久保 秀樹